

事務事業評価結果一覽

【教育委員会実施分】

平成 29 年度事務事業評価

平成30年 9 月

千歳市

一覧表の項目別説明

1 事務事業の必要性

(1) 市民ニーズの動向

- I : 社会情勢の変化により、市民ニーズが増加傾向にあるもの
- II : 市民ニーズの動向や利用者の需要に大きな変化がないもの
- III : 社会情勢の変化により、市民ニーズが減少傾向にあるもの
- IV : 市内部組織を対象とするなど、市民ニーズとは直接関連しないもの

(2) 事務事業の性質

- I : 市が保障する市民生活の最低水準に関わる事業
- II : 市民の生命・財産・権利を守るために必要な事業
- III : 市民生活を豊かにするために実施する特色ある事業
- IV : 市内部組織を対象とするなど、市民生活とは直接関連しないもの

2 市の関与の妥当性

(1) 事務事業の実施主体

- I : 法令や条例等の定めにより、市が実施主体となる事業
- II : 法令等の定めはないが、公共性や公益性の観点から市が実施主体となる事業
- III : 企業や市民団体等が実施主体となり、市が補完的な役割を行う事業
- IV : 企業や市民団体等による実施が妥当な事業

(2) 対象者の範囲

- I : 大多数の市民に提供され、市民生活に必要不可欠なもの
- II : 大多数の市民に提供されるが、選択可能なもの
- III : 特定の個人又は集団に提供され、市民生活に必要不可欠なもの
- IV : 特定の個人又は集団に提供されるが、選択可能なもの
- V : 市内部組織を対象とするなど、市民生活とは直接関連しないもの

3 経済性

(事務事業の実施に当たり、事業費の削減が図られているか)

- A : 事業費は削減傾向にある
- B : 事業費に大きな変動はない
- C : 事業費は増加傾向にある
- : 当年度からの新規事業

4 効率性

(事務事業を実施した結果、事業年度の活動量に対するコストの削減が図られているか)

- A : コストは削減傾向にある
- B : コストに大きな変動はない
- C : コストは増加傾向にある
- : 当年度からの新規事業

5 有効性

(事務事業を実施した結果、事業年度の成果目標は達成できているか)

- A : 95%以上達成できている
- B : 70 から 95%達成できている
- C : 70%未満の達成率である
- : 目標達成率が算出できない

6 手段の妥当性

(事務事業の目的を達成するために実施している他の事業に類似事業があり、統合・移管が可能か)

- A : 類似事業はない又は人件費事業である
- B : 類似事業を含むが、統合・移管するには十分検証する必要がある
- C : 類似事業を含み、部分的に統合・移管が可能である
- D : 統合・移管すべき事業を含む

7 今後の方向性

現状のまま継続

現状でおおむね事業の目的や成果が達成されており、事業内容の見直しは行わない事業

見直して継続

拡大

事業は継続するが、事業内容を拡大する方向で見直しを行う事業

縮小

事業は継続するが、事業内容を縮小する方向で見直しを行う事業

手段の見直し

事業は継続するが、その手段となる細事業の見直しを行う事業

その他（統合・移管等）

事業は継続するが、他の事業との統合や他の組織に移管するなど、上記の方法以外の見直しを行う事業

休止・廃止 何らかの理由により、休止・廃止とする事業

終了・完了 事業期間の満了により、終了・完了とする事業

8 二次評価の有無

有 二次評価委員会による二次評価を実施した事業

事業担当課による評価（一次評価）だけでなく、事務事業の課題と今後の方向性との整合性や、改善内容の確認を行うなど客観性の確保を図るとともに、市政の総合的な観点に立った評価を行うため、二次評価委員会（座長：副市長）による二次評価を実施（今年度は2事業）

番号	事業名	細事業名	所属	事業内容	直接経費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)	市民 ニーズ の動向	事務事 業の性 質	事務事 業の実 施主体	対象者 の範囲	経済性	効率性	有効性	手段の 妥当性	今後の 方向性	二次 評価の 有無
1	修学支援事業	奨学金事業	教育部企画総務課総務係	高校や大学などで学習したいという意欲があり、その能力があるにもかかわらず、家庭の経済的な事情により学校へ通うことが困難な学生や生徒に対して、奨学金を給付している。給付額は、高校生で月7,000円以内、大学生で月10,000円以内とし、高校生60名、大学生25名を限度に給付している。	26,416	987	27,403	I	III	II	III	C	C	A	B	見直して継続 (拡大)	有
2	幼稚園及び認定こども園教育振興事業	私立幼稚園及び認定こども園就園奨励費補助事業、私立幼稚園燃料費・光熱水費補助事業、私立幼稚園等障害児教育補助事業、私立幼稚園建設資金利子補給補助事業、私立幼稚園連合会研修費補助事業	教育部企画総務課総務係	幼児期は、人間形成の基礎を培う極めて重要な時期であり、幼稚園教育がその後の学校教育全体の生活や学習の基盤の育成につながることから、その役割は非常に大きい。このことから、幼稚園教育の振興を図るため、私立幼稚園及び認定こども園に対して補助金を交付し、教育環境を整備している。 (平成26年度までは、幼稚園教育振興事業として実施。)	56,807	2,374	59,181	II	III	II	IV	A	B	A	B	見直して継続 (その他)	
3	通学事務	スクールバス運行業務、通学路・通行禁止・制限通知業務、プール学習バス借上業務	教育部学校教育課学校教育係	遠距離通学者及び特別支援学級通学者の登下校のためにスクールバス・タクシーを運行し、通学や移動の手段の確保を図る。また、通学路や校区内で行われる道路工事等の危険箇所を学校へ通知し、安全な通学が行われるように指導する。	139,898	4,779	144,677	I	I	I	III	C	B	A	A	現状のまま継続	
4	小中学校アクティブスクール活動事業	アクティブスクール活動事業補助金交付事業(小学校)、アクティブスクール活動事業補助金交付事業(中学校)	教育部学校教育課学校教育係	総合的な学習の時間をはじめとする各小中学校に特色ある教育活動に対し、アクティブスクール活動事業補助金の交付を行う。	7,500	1,850	9,350	II	III	II	IV	B	B	A	B	現状のまま継続	
5	千歳市学校課題研究指定校助成事業	学校課題研究指定校補助金交付事業	教育部学校教育課学校教育係	指定された学校が課題や教育方法を研究することにより、自校の課題解決や教育方法の改善・充実を図るとともに、市内各学校にその成果等を発表することにより、学校教育の振興を図るための助成を行う。	400	154	554	II	III	II	IV	B	B	A	B	現状のまま継続	
6	学校活動支援事業	教育振興バス等借り上げ事業、電子学習システム支援委託料、小規模校合同芸術鑑賞補助金交付事業、小中学校文化活動全国・全道大会等参加補助金交付事業、中学校体育連盟等補助金交付事業、学生ボランティア学習サポート事業	教育部学校教育課学校教育係	校外学習や課外活動などにおけるバスの運行や、小規模校の芸術鑑賞に対する補助、運動・文化行事の全道・全国大会出場の際の補助、中体連・中文連に関する補助、千歳科学技術大学が運営する電子学習システムの活用など、様々な学校活動に対する支援を行う。	28,602	4,317	32,919	II	III	II	IV	B	B	A	B	現状のまま継続	
7	学力向上推進事業	学力向上推進事業	教育部学校教育課学校教育係	習熟度別指導を実施するため、小中学校に学習支援員(第2種非常勤職員)を配置する。	46,402	2,158	48,560	I	III	II	IV	C	B	A	A	見直して継続 (拡大)	

番号	事業名	細事業名	所属	事業内容	直接経費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)	市民 ニーズ の動向	事業事 業の性 質	事業事 業の実 施主体	対象者 の範囲	経済性	効率性	有効性	手段の 妥当性	今後の 方向性	二次 評価の 有無
8	特別支援学校等就学者支援事業	特別支援学校等就学援助金支給事業(小学校)、特別支援学級等通学費助成事業(小学校)、特別支援学校等就学援助金支給事業(中学校)、特別支援学級等通学費助成事業(中学校)	教育部学校教育課特別支援教育係	障がい配慮した適切な教育を受けるために、就学にかかる経費や交通費(ガソリン代、バス代)を補助することにより、経済的な負担を軽減し、均等な教育機会を確保する。	10,155	3,145	13,300	II	II	I	IV	B	B	B	B	現状のまま継続	
9	学校評議員設置事業	学校評議員設置事業	教育部学校教育課学校教育係	地域が学校に期待することは、情報の開示と外部評価による開かれた学校づくりである。保護者や地域も学校の様子を承知し、学校は地域の意見を取り入れながら、学校運営を行わなければならない。学校と地域が情報を共有し双方が支えあうことで、安全で安心な教育環境を整えることができる。このことから、校長の求めに応じ地域住民が意見を述べる学校評議員会を設置し、学校と地域の連携を図るものである。	599	771	1,370	II	II	I	III	B	B	B	B	現状のまま継続	
10	国際理解教育支援事業	英語活動推進事業、ALT 配置事業	教育部学校教育課学校教育係	生徒に国際感覚と実践的なコミュニケーション能力を育成するため、2名のALTを市内中学校に配置している。また、市内小学生の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、小学校1～4年生を対象に英語に堪能な市民講師を配置するとともに、平成23年度からは、小学校5～6年生を対象に外国語活動が必修化されたことから、ALT(第1種非常勤職員)3名を各校に配置している。平成26年度からは、更なる英語によるコミュニケーション能力の向上のため、ALTによる小学校用英語リスニングCDの作成や、中学校での長期休業中	1,362	17,162	18,524	I	III	II	IV	B	B	A	A	見直して継続(拡大)	
11	特別支援教育事業	就学相談事業、千歳市教育支援委員会事業、千歳市教育支援委員会専門委員会事業、児童生徒ヘルパー配置事業、千歳市特別支援教育専門家チーム事業、特別支援教育研修事業、特別支援教育支援員配置事業	教育部学校教育課特別支援教育係	特別支援教育の充実を図るため、就学相談を行うとともに、教育支援委員会において障がいの程度を判断・判定し、児童生徒の適正な就学と障がい配慮した教育支援を行う。また、特別支援教育専門家チームにおける巡回相談を実施するとともに、各学校への特別支援教育支援員配置の強化に努める。	49,049	61,059	110,108	I	I	I	III	B	B	A	A	見直して継続(拡大)	
12	適応指導教室運営事業	適応指導教室事業、不登校調査事業	教育部青少年課生徒指導係	不登校状態の小中学生個々の居場所となる教室を開設し、適切な教育相談や基本的な生活習慣等の指導を行い、学校生活への復帰を支援するとともに、いじめや不登校等の問題行動の早期解決と未然防止に向けて的確な対応のために、学校・地域・関係機関と連携した支援体制づくりに取り組む。	2,279	8,609	10,888	I	II	I	I	B	B	A	A	現状のまま継続	
13	心の教室相談員配置事業	心の教室相談員配置事業	教育部青少年課生徒指導係	心の教室相談員を配置し、適切な教育相談や基本的な生活習慣等の指導を行い、悩みや不安、ストレスを解消する。	4,585	3,326	7,911	I	II	I	I	B	B	A	A	現状のまま継続	

番号	事業名	細事業名	所属	事業内容	直接経費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)	市民 ニーズ の動向	事務事 業の性 質	事務事 業の実 施主体	対象者 の範囲	経済性	効率性	有効性	手段の 妥当性	今後の 方向性	二次 評価の 有無
14	スクールカウンセラー配置事業	スクールカウンセラー配置事業	教育部青少年課生徒指導係	カウンセラー(臨床心理士)によるカウンセリングを行い、適切な教育相談や基本的な生活習慣等の指導を行う。	3,744	3,789	7,533	I	II	I	I	B	B	A	A	現状のまま継続	
15	生徒指導事業	生徒指導対策費交付事業、千歳市教護協会補助金交付事業、非行事故調査事業、一般事故調査事業、交通事故調査事業、教育相談事業、個別ケース相談事業、いじめ・不登校等対策会議事業、いじめ調査事業	教育部青少年課生徒指導係	児童生徒が事件・事故等の無い安全で快適な学校生活が出来るよう、市内小中学校の生徒指導活動を支援するとともに、学校・家庭・地域・教育委員会・関係機関等が連携した協体制の充実を図る。 また、非行事故、一般事故、交通事故等の調査により事故の実態を把握し再発防止に努める。	1,250	4,853	6,103	I	II	I	I	B	B	A	A	現状のまま継続	
16	児童生徒安全対策事業	不審者・不審電話対策事業、緊急避難所指定事業、千歳っ子見守り隊事業	教育部青少年課青少年指導係	不審者・不審電話が発生した場合、ホームページ及びFAXによる関係機関への周知と希望する市民にメールによる配信を行い注意喚起をしている。緊急避難場所、千歳っ子見守り隊に登録をいただき、子どもたちが安心して安全に登下校できるよう活動している。	1,000	2,742	3,742	I	II	II	I	B	B	A	A	現状のまま継続	
17	青少年非行防止事業	街頭巡回指導、育成指導、各関係機関相談業務	教育部青少年課青少年指導係	青少年の街頭指導、育成事業、保護及び矯正に関し関係機関・団体と連携しながら青少年の健全育成を図る。	3,704	11,198	14,902	I	II	II	I	B	B	B	A	現状のまま継続	
18	生涯学習推進事業	生涯学習推進業務、生涯学習フォーラム事業	教育部生涯学習課生涯学習推進係	フォーラムなどを通して、生涯学習に関する情報を提供するとともに、市民及び団体が自発的に実施する学習や活動を推進するため、各種情報提供などの支援を行う。	880	3,700	4,580	II	III	III	II	B	B	B	A	現状のまま継続	
19	千歳学出前講座事業	千歳学出前講座事務事業	教育部生涯学習課生涯学習推進係	「市民編」、「仕事編」、「市役所編」の3編の出前講座を通じて市民や団体の学びあいによる学習活動や交流の活性化を図るとともに、市民と団体及び行政が、情報の共有化を図る。	1,465	3,546	5,011	II	III	II	II	B	B	B	A	現状のまま継続	
20	生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」支援事業	生涯学習まちづくりフェスティバル実行委員会業務	教育部生涯学習課生涯学習推進係	自由な市民活動の交流の場、市民主体のまちづくりを考える場、学び合い・高め合う場、ふるさと千歳の再発見の場として「ふるさとポケット」を開催する。	2,657	3,392	6,049	II	III	III	II	B	B	B	A	現状のまま継続	
21	市民活動交流センター管理運営業務	千歳市民活動交流センター管理運営事業	教育部生涯学習課生涯学習推進係	市民活動の支援拠点施設として、千歳市民活動交流センター「ミナクル」を協働事業として運営しており、市民活動の場、市民活動に関する情報提供の場、さらに活動に関する指導・相談の場として、市民の自主的な活動や交流を積極的に支援する。	12,885	1,850	14,735	II	III	III	II	B	B	B	B	現状のまま継続	

番号	事業名	細事業名	所属	事業内容	直接経費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)	市民 ニーズ の動向	事務事 業の性 質	事務事 業の実 施主体	対象者 の範囲	経済性	効率性	有効性	手段の 妥当性	今後の 方向性	二次 評価の 有無
22	学校支援地域本部事業	学校支援地域本部運営事業	教育部生涯学習課生涯学習推進係	学校支援地域本部事業の実施により、学校からの支援要請に基づく各種授業支援や環境整備及び学校行事などに適したボランティアを派遣し、学校運営を支援する。 また、本部には学校のニーズと学校支援ボランティアを調整する地域コーディネーターを配置し、必要な人材の確保及び広報活動等を行う。	2,088	3,546	5,634	I	III	III	II	B	B	A	A	現状のまま継続	
23	放課後子ども教室推進事業	放課後子ども教室推進事業	教育部生涯学習課生涯学習推進係	放課後子ども教室を開設し、放課後における安全・安心な活動拠点を提供するとともに、学校・家庭・地域の連携協力を得て、学習や体験など様々な活動プログラムを提供する。	270	771	1,041	I	III	II	IV	B	B	B	A	現状のまま継続	
24	ひと・まちづくりリーダー養成事業	みんなで、ひと・まちづくり委員会業務	教育部生涯学習課生涯学習推進係	団体、企業や市民活動の経験者などで構成する「みんなで、ひと・まちづくり委員会」を組織し、「人づくり・まちづくり」の担い手の拡大を図るため、市民が自ら企画する「人づくり・まちづくり」を行う人材の育成と市民活動の支援を目的とした事業や学習会を企画運営する。	1,141	2,621	3,762	II	III	III	II	B	B	C	A	見直して継続 (手段の見直し)	
25	社会教育委員設置事業	社会教育委員の会議設置事業	教育部生涯学習課生涯学習推進係	社会教育行政の充実を図るため、社会教育委員を設置している。 社会教育委員は、学識経験者や社会教育関係団体など市民各層から選出された方々で、社会教育事業の調査・研究や計画立案、さらには、教育委員会に対して意見を述べる役割があり、会議を年数回開催し、諸課題について協議を行っている。	495	1,542	2,037	I	III	I	II	B	B	A	A	現状のまま継続	
26	女性団体活動支援事業	千歳市女性団体協議会支援事業	教育部生涯学習課社会教育係	市内の女性で組織する団体相互の連携を強め、女性の社会的地位の向上や豊かな郷土と社会づくりを目的とする女性団体の活動を支援している。	516	463	979	II	III	III	III	B	B	B	A	現状のまま継続	
27	社会教育活動支援業務	社会教育活動支援業務	教育部生涯学習課社会教育係	社会教育活動を行う個人や団体に対して、団体登録や資料の配布、事業の後援などを行うとともに、市民の社会教育活動を支援するための事務や、職員の資質向上を図るための研修会に参加している。	111	925	1,036	I	III	II	IV	B	B	A	A	現状のまま継続	
28	はたちのつどい開催事業	はたちのつどい開催事業	教育部生涯学習課社会教育係	人生の節目として新成人の門出を祝うとともに、新成人に社会人としての自覚と社会との関わりや果たすべき役割の認識を高めてもらう契機となるよう式典行事を開催している。また、記念写真コーナーや「新成人の広場」をボランティアの協力で開催し、新成人の交流の場を提供している。	527	2,679	3,206	II	III	II	IV	B	B	B	A	見直して継続 (拡大)	
29	高齢者学級開催事業	千歳高星大学、千歳高星大学大学院、千歳市若返り学園	教育部生涯学習課社会教育係	高齢社会を迎え、高齢者が充実した生活を送るために自ら進んで学習活動や社会的活動を続け主体的に生きていくことが求められていることから、高齢者の生きがい作りや社会参加を促すための学習機会として、「千歳高星大学」「千歳高星大学大学院」「千歳市若返り学園」を開講している。	2,298	7,233	9,531	I	III	II	IV	B	B	A	A	現状のまま継続	

番号	事業名	細事業名	所属	事業内容	直接経費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)	市民 ニーズ の動向	事務事 業の性 質	事務事 業の実 施主体	対象者 の範囲	経済性	効率性	有効性	手段の 妥当性	今後の 方向性	二次 評価の 有無
30	生涯学習まちづくり推進講座開催事業	国際理解講座開催事業、市民教養セミナー開催事業	教育部生涯学習課社会教育係	地域的な課題や社会の変化に伴う今日的な課題に関する生涯各期にわたる学習機会の充実と、これらの課題に対応した市民活動やコミュニティ活動の実践を促すための学習機会として「国際理解事業」、「市民教養セミナー」などを実施している。	813	2,621	3,434	I	III	II	II	B	B	A	B	現状のまま継続	
31	ユネスコ協会活動支援事業	ユネスコ協会活動支援事業	教育部生涯学習課社会教育係	千歳ユネスコ協会の事務局を運営し、チャリティーパーティーや書きそんじハガキの収集活動等を通じて得た募金を、ユネスコ世界寺子屋運動や千歳市奨学基金へ寄附するなどして、ユネスコ活動の普及・推進を図っている。	0	2,158	2,158	II	III	III	IV	B	B	A	A	現状のまま継続	
32	P T A 活動支援事業	千歳市P T A連合会運営支援事業	教育部生涯学習課社会教育係	千歳市P T A連合会に対して会の安定した事業運営を支援するため、研修会などの運営費の一部を市が補助している。	366	463	829	II	III	III	III	B	B	A	A	現状のまま継続	
33	家庭教育講座開催事業	家庭教育講座開催事業	教育部生涯学習課社会教育係	「ママさん教室」や「家庭教育セミナー」などの事業を通じて、子どもの発達段階に応じた育児知識の習得と情報交換の場を提供するとともに、講演会を通して幅広く市民に家庭教育について考え、役立ててもらうための学習機会を提供している。	1,966	4,515	6,481	II	III	II	II	B	B	B	B	現状のまま継続	
34	文化活動支援事業	千歳市民文化表彰事業、千歳市文化団体連絡協議会支援事業、アイヌ民族文化祭開催支援事業、フレンドリーコンサート開催事業	教育部生涯学習課社会教育係	文化団体に対する活動支援及び文化活動に顕著な功績があった個人・団体への表彰を通して、市民の文化活動の促進と文化の向上を図る。 また、合唱を通じて技術の向上と文化活動の振興を図るとともに、市民へ芸術鑑賞機会を提供するため、合唱祭を開催している。	2,595	2,004	4,599	I	III	III	II	B	B	A	A	現状のまま継続	
35	青少年健全育成事業	青少年育成推進員設置事業、千歳青少年教育財団支援事業(教育事業費分)、千歳市・指宿市青少年相互交流事業、子ども活動支援事業、チャレンジ教室開催事業、千歳青少年教育財団支援事業	教育部生涯学習課社会教育係	子どもたちが健全に育つよう青少年育成推進員を設置するとともに、「千歳サケのふるさと館」を運営する(公財)千歳青少年教育財団などの青少年教育関係団体に対する活動支援を通じ、幅広い青少年活動事業を実施している。小学生対象事業としてはチャレンジ教室や出前講座、長期休みの体験教室などを実施して体験学習機会の提供、情報紙マナビーなどを作成し広報活動を行い、青少年行事の周知を図っている。	68,736	5,648	74,384	II	III	III	II	B	B	B	A	見直して継続 (その他)	
36	市指定文化財保存伝承活動補助事業	「泉郷獅子舞」保存伝承活動補助事業、「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」保存伝承活動補助事業	教育部埋蔵文化財センター文化財調査係	市指定無形民俗文化財の保持団体が実施する保存伝承活動に対し、必要な経費の補助を行っている。	200	308	508	II	III	I	IV	B	B	A	A	現状のまま継続	
37	文化財普及啓発事業	千歳学出前講座業務、文化財解説業務、「縄文文化」体験学習会事業、埋蔵文化財公開講座事業、埋蔵文化財展示会事業、埋蔵文化財広報資料製作事業、埋蔵文化財常設展示業務	教育部埋蔵文化財センター文化財調査係	縄文土器づくり、石器づくり、勾玉づくり、縄文クッキーづくりや、火おこしなどの体験学習会、市内の遺跡や出土品をテーマとする企画展及び公開講座(講演会)を開催する。地域の埋蔵文化財を身近に感じて地域の歴史が理解できるような広報資料を製作し、市内小中学生及び市民に配布する。 常設展示、企画展示及び史跡見学の市民に希望に応じ文化財の解説を行う。	2,142	2,158	4,300	III	III	I	II	A	A	B	A	見直して継続 (手段の見直し)	有

番号	事業名	細事業名	所属	事業内容	直接経費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)	市民 ニーズ の動向	事務事 業の性 質	事務事 業の実 施主体	対象者 の範囲	経済性	効率性	有効性	手段の 妥当性	今後の 方向性	二次 評価の 有無
38	縄文遺跡群世界遺産登録推進会議事業	縄文遺跡群世界遺産登録推進会議事業	教育部埋蔵文化財センター文化財調査係	・北海道・青森県・秋田県・岩手県と関連市町で構成される縄文遺跡群世界遺産登録推進会議が実施する事業 [(1)世界遺産登録推薦書案作成事業、(2)世界遺産登録を推進するための普及啓発事業、(3)国際的合意形成促進事業] の共同推進 ・構成資産のキウス周墳墓群に係る保存管理計画の各種事業実施、保護制度の運用・実施	286	2,775	3,061	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	A	B	A	A	現状のまま継続	
39	国指定史跡整備事業	国指定史跡調査事業	教育部埋蔵文化財センター文化財調査係	国史跡キウス周墳墓群(昭和54年指定)を整備対象とする。史跡指定地周辺区域の埋蔵文化財の様相を把握するため、発掘調査等を実施する。 見学設備等の整備を行う。	14,206	8,633	22,839	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	C	B	B	A	現状のまま継続	
40	公民館分館運営事業	公民館分館運営事業、営農地区冬期講座	教育部文化施設課文化施設係	農村地区にある公民館の11分館において、地域の学習の場やふれあいの場として地域住民である分館長と分館主事が分館の管理運営を行っており、農閑期に地域の特色にあった公民館教室を開催している。	3,609	1,542	5,151	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅳ	B	B	A	A	現状のまま継続	
41	小中学校司書配置事業	小中学校司書配置事業	教育部文化施設課文化施設係	市内の小中学校に学校司書を配置し、小中学校図書館における児童生徒への対応、図書の整理、環境整備、イベントの企画等についての支援を行う。	24,894	4,779	29,673	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	C	A	A	A	見直して継続(拡大)	
42	教育関係機関補助事業	千歳市教育振興会補助事業、千歳市校長会補助事業、千歳市教頭会補助事業	教育部学校指導室学校指導課教職員係	市内の教職員で構成する教育研究団体や他管内等の教職員との連携などを目的とした各組織に補助金を交付する。	7,012	2,158	9,170	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅳ	B	B	A	A	現状のまま継続	

○二次評価結果

一次評価の「今後の改善案等」に、改善案を示した事業（2事業）

修学支援事業						教育部企画総務課総務係		
評価結果	成果指標名				H28	H29	H30	単位
	本来の指標	経済的に修学が困難な学生、生徒の修学率		目標	50	65	65	%
	代替指標	奨学金給付率		実績	69	66		
	経済性	効率性	有効性	手段の妥当性	H29総経費(直接経費+人件費)		今後の方向性	
	C	C	A	B	27,403 千円		見直して継続(拡大)	
事業内容	<p>高校や大学などで学習したいという意欲があり、その能力があるにもかかわらず、家庭の経済的な事情により学校へ通うことが困難な学生や生徒に対して、奨学金を給付している。給付額は、高校生で月7,000円以内、大学生で月10,000円以内とし、高校生60名、大学生25名を限度に給付している。</p>							
改善内容	<p>奨学金使途の寄附金が増加傾向にあるため、一人でも多くの生徒・学生に給付できるように制度の拡充を行う。他市状況や社会情勢などの動向を勘案し、引き続き検討していく。</p>							
二次評価コメント	<p>経済的な理由で就学が困難な学生や生徒に対し、奨学金を給付することは、等しく教育を受ける機会を確保するため、今後も継続して取り組む必要があるが、制度の拡大に当たっては、社会情勢などの動向を勘案し、受給資格や給付額等について検討する必要がある。</p>							

文化財普及啓発事業						教育部埋蔵文化財センター文化財調査係		
評価結果	成果指標名				H28	H29	H30	単位
	本来の指標	千歳の人と自然の歴史、文化財を理解した市民の数		目標	1,200	1,200	1,200	人
	代替指標	事業参加者延べ数		実績	1421	929		
	経済性	効率性	有効性	手段の妥当性	H29総経費(直接経費+人件費)		今後の方向性	
	A	A	B	A	4,300 千円		見直して継続(手段の見直し)	
事業内容	<p>縄文土器づくり、石器づくり、勾玉づくり、縄文クッキーづくりや、火おこしなどの体験学習会、市内の遺跡や出土品をテーマとする企画展及び公開講座(講演会)を開催する。 地域の埋蔵文化財を身近に感じて地域の歴史が理解できるような広報資料を製作し、市内小中学生及び市民に配布する。 常設展示、企画展示及び史跡見学の市民に希望に応じ文化財の解説を行う。</p>							
改善内容	<p>市民に埋蔵文化財の理解をより一層深めてもらうため、常設展示等において、職員あるいは解説情報付加設備による文化財解説の機会を増やす。</p>							
二次評価コメント	<p>体験学習や講座・講演の開催は、市民の文化財についての理解を深めることにつながることから、より多くの市民に地域の埋蔵文化財を身近に感じてもらえるように、実施内容の周知や説明方法について検討する必要がある。</p>							